

ビジネス・パーソンのための「ビジネスとヒューマンライツ」入門編

<各章のテーマ* 前半>

◆ 第1章

資本主義の歪み

1. 資本主義社会の実態(格差社会、不平等)
2. この課題を解く鍵を持つ企業の役割とは何か?
3. 企業とステークホルダーの良好な関係とは何か

◆ 第2章

グローバル企業に求められていること

1. グローバリゼーションの主役は多国籍企業である
2. ダイバーシティによる価値の共有化
3. 多様な価値観を受容する余白の日本文化

◆ 第3章

企業が果たすべき役割について

1. 企業は社会に負の影響を及ぼさない仕組みの構築
2. 社会全体を配慮した自己利益を生み続ける
3. 企業の成長と社会の発展のベクトルを合わせる

◆ 第4章

法令遵守以上の精神

1. 法律は過去の出来事に対応
2. コンプライアンスは過去と現在の間のギャップを埋める
3. 企業の社会的責任は未来に起こりうる芽を摘む

◆ 第5章

新たな挑戦

1. 人権を保護する国家の義務
2. 人権を尊重する企業の責任
3. 救済へのアクセス

ビジネス・パーソンのための「ビジネスとヒューマンライツ」入門編

<各章のテーマ*後半>

◆ 第6章

ビジネスとヒューマンライツ

1. 米国の南北戦争時代のヒューマンライツ課題(奴隷解放)
2. 多国籍企業のヒューマンライツ課題(労働者や地域住民)
3. 指導原則の「人権を尊重する企業の責任」

◆ 第7章

人権デューデリジェンスプロセス

1. 人権デューデリジェンスプロセス
2. KAIZENメカニズム
3. 透明性と説明責任の捉え方

◆ 第8章

企業価値向上に向けた取り組み

1. 企業価値=有形資産+無形資産
2. 無形資産=ビジネスとヒューマンライツ(ESGの“S”)
3. 正統性の担保は、人権デューデリジェンスから

◆ 第9章

本来の日本企業価値

1. 三方よし=「売り手よし、買い手よし、世間よし」
2. 三方よしと「ビジネスとヒューマンライツ」の違い
3. 「変えて良いところと変えてはいけないところ」

◆ 第10章

Think Global Act Local

1. 生産性と効率性、人間性と社会性の関係性
2. 「計る」:ものさしの尺度
3. 図る:ダイアログ(調和型)